

1 時間目の終わる 5 分前に 3 年生の教室に向かった。3 年生が授業のおわりのあいさつをしっかりとしようという取り組みを始めたと聞いたので、その様子を見に行くためだ。チャイム席はほぼあたりまえ、最初のあいさつはもちろん元気よく。しかし、おわりのあいさつは、へなちょこだよ。みんなで話し合っただけなんだ▼はじめのあいさつは、しっかりできてもおわりのあいさつが、おざなりになるのは、わりとある。いただきますはするけれど、ごちそうさまをしない人は案外多かったりする▼3 年生のおわりのあいさつは、見事であった。扉に例えれば、開け放した扉をきっちり閉めるような感覚。心を整えて終わると言ってもよい▼教室からの帰り道はたのしかった。4 年生の教室では、花丸をもらった漢字ノートを見せに来てくれた子がいた。5 年生の教室では、「校長先生って眼鏡はめとったん？」とあなたは今まで私のどこを見てくれていたのですか？という子や、「校長先生も歯磨きカードする？」「次の社会一緒に勉強してく？」と友だちのごとく誘ってくれる子もいた▼せっかく誘っていただいたので、社会の授業に参加していたら、「校長先生ちょっと・・・」と後ろから職員に呼ばれ、あえなく辞去▼折り目切り目をつけられる子に育てほしいと思う。あいさつはそのきっかけにもなり得る。日々の積み重ねが大きな力になる。